

小さな町の素敵な音楽祭

# 第35回木曾音楽祭

Flute	佐久間由美子
Oboe	古部賢一 多田敦美
Clarinet	山本正治 磯部周平
Fagott	吉田 将 岡本正之
Horn	松崎 裕 山本 眞
Mezzo Soprano	白井光子
Violin	久保陽子 加藤知子 漆原啓子 長原幸太
Viola	菅沼準二 市坪俊彦 鈴木康浩
Violoncello	山崎伸子 花崎 薫 辻本 玲
Contrabass	星 秀樹
Piano	野島 稔 寺嶋陸也
Director	山本正治



阿寺深谷・牛ヶ淵 (大桑村)

© Junichi Ikoma

09.8.20 ▶ 23  
木曾文化公園文化ホール

8月21日(金) 7時 フェスティバルコンサート I

- モーツァルト  
弦楽五重奏曲 第3番 ハ長調 K.515
- シュボア  
歌とクラリネットとピアノのための(6つのドイツ歌曲) op.103
- ファランク  
九重奏曲 変ホ長調 op.38

8月22日(土) 5時 フェスティバルコンサート II

- モーツァルト  
管楽六重奏曲 変ホ長調
- グラズノフ  
弦楽五重奏曲 イ長調 op.39
- プラームス  
ピアノ五重奏曲 ヘ短調 op.34

8月23日(日) 3時 フェスティバルコンサート III

- ビゼー = 山本眞編曲  
カルメン～管楽九重奏版による～
- レスビーギ  
夕暮れ～メゾ・ソプラノと弦楽四重奏のための抒情詩～
- プーランク  
ピアノと管楽器のための六重奏曲
- メンデルスゾーン  
弦楽八重奏曲 変ホ長調 op.20

前夜祭コンサート

8月20日(木) 7時 福島中学校体育館

\*曲目・出演者が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。また未就学児の入場はお断り致します。

主催 = 木曾音楽祭実行委員会  
共催 = 木曾町・木曾広域連合・信濃毎日新聞社  
財団法人 信毎文化事業財団  
企画制作 = 東京アーティスト

入場料

フェスティバルコンサート(全指定) 大人 ¥4,000 小・中学生 ¥2,000  
フェスティバルコンサート通し券 指定 ¥11,000 (前夜祭コンサートチケット付き)  
前夜祭コンサート(自由席) 大人 ¥1,000 小・中学生 無料

\*通し券は木曾音楽祭事務局のみ取り扱い(限定120席)

■チケット予約・お問い合わせ 木曾音楽祭事務局 **0264(21)1222** <http://www.town-kiso.com/music/>

東京アーティスト 03(3440)7571

■プレイガイド

チケットぴあ 0570(02)9999・木曾文化公園 0264(23)8011



# 木曽音楽祭35回と、未来

木曽音楽祭実行委員会会長 木曽町長 田中勝巳

県内中信地方を対象に「市民タイムス」という地方紙が発行されている。地方情報誌だが、この紙に「リレーコラム」という欄がある。なかなか鋭い意見があったりして面白い。

昨年秋11月21日号のこのタイムスに、ときどき「刃辺閑話」を載せている高坂邦彦氏の「木曽音楽祭・マールポロ・安曇野メサイア」というコラムが載った。この紙面で、木曽音楽祭を氏は次のように評した。

「木曽音楽祭は、『いったいどうして、この地方でこんな立派な音楽祭ができるのか』と思わせる質の高い音楽祭である。

演奏家たちが合宿してレッスンし、演奏会を開く。それを地元のボランティアが支える。オーディションには定員の5倍をこえる応募者がある。どうりで演奏水準が高いはずだ」「有名な軽井沢音楽祭も八ヶ岳音楽祭も、木曽音楽祭のコピーである」

氏は当時の町長唐沢久雄・美貴ご夫妻の功績を讃えている。唐沢町長の実現には、私も議員だった関係で、少々のエピソードもっている。

昭和49年の2月だった。当時の町長杉本隆一氏が旅先で急逝し、急ぎ町長選挙となった。この急な選挙に、候補者として担ぎ出したのが私だった。選挙の期日が迫った雪の降っている晩だった。私は唐沢宅を訪ね、久雄氏に立候補を促した。本人はなかなか承知しなかったが、私の話を聞いていた奥さんが、やおら立ち上がり、「そうだ、この危機を救えるのは、うちのお父さんしかいない」と大きな声で断言した。それから久雄氏が決断するまでに時間はかからなかった。3人立候補したが、

唐沢氏は過半数を獲得し、当選した。

それにしても、唐沢ご夫妻のマールポロ訪問が、ご息の昌伸氏の勧めだったとは、今回の高坂氏のコラムではじめて知った。この渡米が唐沢ご夫妻の志をいっそう高くしたのかもしれない。それはまた、音楽祭の運営に関して、注いだ苦労は大変なものがあったと記憶している。

ご息の昌伸氏に、私は数度会ったことがある。当時も一度会ったが、製菓会社を退職されてからの方が多し。特に合唱団「風雅」を主宰されてからだ。インターネットで昌伸氏を検索すると、千葉の流山市・我孫子市・木曽町のそれぞれ二つ、6つの合唱団の指揮を担当していることが分かる。経歴を見ると、かなりの方々に師事し、研鑽を積まれたようだ。

リレーコラムを書いた高坂氏は、「詩のこころを大切にしている」と絶賛している。木曽音楽祭のように、この町の「風雅」も合唱団として育つことを期待したい。

木曽音楽祭は今回で35回。全国に木曽音楽祭のファンがたくさんいる。このみなさんの期待に応えなければならないと自覚している。音楽祭に限らず、すべてのものは、絶えず進化し、変化する。山もあれば谷もあるだろう。そのうち新しい進化の道を研究することに迫られるかも知れない。サイトウ・キネンのように、合唱団を含めて。

今回の音楽祭にも、高坂邦彦氏は来るのだろうかと思ったりしている。

## 8月20日(木) 7時 前夜祭コンサート

名曲コンサート

## 8月21日(金) 7時 フェスティバルコンサート I

モーツァルト●弦楽五重奏曲 第3番 ハ長調 K.515 <漆原 加藤 市坪 鈴木 辻本>  
 シュポア●歌とクラリネットとピアノのための《6つのドイツ歌曲》op.103  
 <白井 山本正 寺嶋>

ファランク●九重奏曲 変ホ長調 op.38  
 <佐久間 古部 磯部 岡本 山本眞 長原 鈴木 花崎 星>

## 8月22日(土) 5時 フェスティバルコンサート II

モーツァルト●管楽六重奏曲 変ホ長調 <山本正 磯部 吉田 岡本 松崎 山本眞>  
 グラズノフ●弦楽五重奏曲 イ長調 op.39 <加藤 長原 鈴木 辻本 山崎>  
 プラームス●ピアノ五重奏曲 ヘ短調 op.34 <野島 久保 長原 菅沼 山崎>

## 8月23日(日) 3時 フェスティバルコンサート III

ビゼー=山本眞編曲●カルメン~管楽九重奏版による~  
 <佐久間 古部 多田 山本正 磯部 吉田 岡本 松崎 山本眞 星>  
 レスピーギ●夕暮れ~メゾ・ソプラノと弦楽四重奏のための抒情詩~  
 <白井 久保 漆原 市坪 山崎>

プーランク●ピアノと管楽器のための六重奏曲  
 <寺嶋 佐久間 古部 磯部 吉田 松崎>

メンデルスゾーン●弦楽八重奏曲 変ホ長調 op.20  
 <加藤 漆原 久保 長原 菅沼 市坪 花崎 辻本>

## チケット先行予約

6月14日(日) 午前10時~午後5時

木曽音楽祭事務局 Tel.0264(21)1222

(6月15日からは 平日午前8:30~午後5:30)(土日は受付けておりません)

## 木曽文化公園文化ホール 舞台

7	12	あ	13	24	あ	25	30
6		い			い		31
4		う			う		33
3		え			え		34
2		お			お		35
1		か			か		36
		き			き		
		く			く		
		け			け		
1	12	こ	13	24	こ	25	36
		さ			さ		36
		し			し		
		す			す		
		せ			せ		
		そ			そ		
		た			た		
		ち			ち		
		つ			つ		
		て			て		36
		と			と		36
1	12	な	13	24	な	25	36

## 交通のご案内

新宿 ↔ 木曽 直通高速バスで4時間10分

木曽福島行き		新宿行き	
新宿駅西口 発	木曽福島駅前 着	木曽福島駅前 発	新宿駅西口 着
8:10	12:20	7:40	11:50
17:20	21:30	15:40	19:50

片道運賃=新宿~木曽福島 4,500円(往復券10%引・回数券4枚12.5%引)

お問い合わせ・ご予約=京王高速バス予約センター Tel.03(5376)2222

おんたけ交通高速バス予約センター Tel.0264(22)4555

インターネット=http://www.highwaybus.com iモード=http://www.highwaybus.com/i

## 電車 (JR特急)

■新宿から木曽福島  
 中央本線 あずさ・塩尻 しの、中央本線...約3時間20分  
 新幹線 → 長野 しの、中央本線...約3時間20分

■名古屋から木曽福島  
 中央本線...1時間18分

## 車

■東京(高井戸IC)から木曽福島  
 中央自動車道 塩尻IC→R19...約3時間45分  
 中央自動車道 伊那IC→R361→R19...約3時間30分

■名古屋から木曽福島  
 中央自動車道 中津川IC→R19...約2時間10分  
 中央自動車道 伊那IC→R361→R19...約2時間20分

中山道の風情と現代が同居

# 上の段（福島宿）

日本四大関所の一つ中山道の福島関所。かつて木曾町は関所を通る多くの人々を迎え入れ、福島宿として発展した。その福島宿の上の段地区は、今でも格子窓の住宅やなまこ壁の土蔵などが残り、街の中で唯一江戸時代の面影をとどめる空間だ。

町では人が住まなくなった古民家や土蔵などを改修し伊太利亜レストランや甘味処として活用しているほか、伝統的な漆器の館などの整備も進めている。

中山道の風情と現代が同居する上の段は新しい魅力があふれている。



上の段の町並み



肥田亭と松島亭

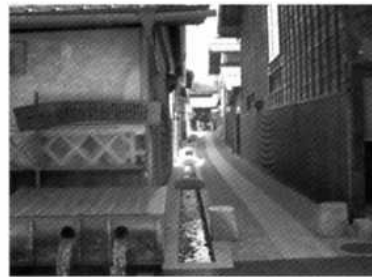
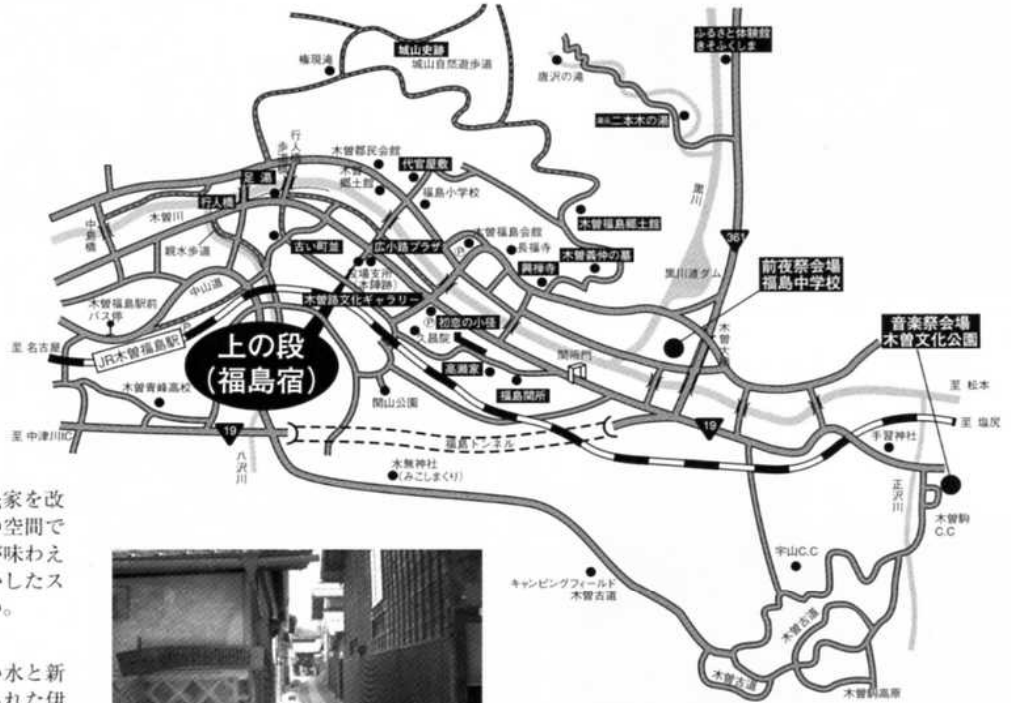


### 肥田亭

築100余年の民家を改装。やすらぎの空間で和風創作料理が味わえる。素材を生かしたスイーツもお勧め。

### 松島亭

木曾のおいしい水と新鮮な食材で作られた伊太利亜料理を、江戸時代の雰囲気の中で楽しむことができる。



水場と寺門前小路



ミニパーク：石置屋根の休憩小屋と水場などがあり、ゆっくりくつろぐことができる。水路には勿忘草が咲く。



**木曾漆器**：上の段に接する八沢地区は「木曾漆器発祥の地」。江戸時代には透明な漆で木地の色や木目を生かす「春慶塗り」が盛んに行われ、木曾ヒノキやサワラを使った小判面津（めんば）や湯桶、菜入れなど曲げ物がたくさん作られ活況を呈していた。明治11年の福島村誌には、職人およそ100人と記されている。しかし、戦後は生活環境の変化や工業製品に押され漆器産業は衰退の一途をたどり、現在福島で漆器の製造・販売をしているのはわずか2軒に過ぎない。そこで町では上の段の古民家を改修し「木地の館」や「漆の館」として整備し「八沢春慶塗り」復興を目指している。

## フェスティバルコンサート会場で軽食を販売

8月21日(金)～23日(日) 開場1時間前から販売

地元の郷土料理愛好家「四季の会」が、木曾の名物料理（五平餅、山菜おこわ・米粉まんじゅう・朴葉ずし・飲み物）などを販売します。ぜひご賞味ください。

●木曾音楽祭へは臨時バスをご利用ください。（大人200円 小人100円）

	木曾福島駅発	木曾文化公園着	木曾文化公園発	木曾福島駅着
8月21日(金) 19:00	18:00	18:20	21:00	21:20
8月22日(土) 17:00	16:00	16:20	19:00	19:20
8月23日(日) 15:00	14:00	14:20	17:00	17:20

\*木曾福島駅行きバスの発車時刻は、終演時間によって前後します

\*臨時バスは、右記 木曾福島の宿泊施設近くのバス停にも停まります

### 木曾音楽祭協賛宿泊施設のご案内

(地区順・50音順)

地区	施設名	電話	温泉	街なか	高原	近郊
木曾福島	木曾路の宿 いわや	0264(22)2015	●	●		
	山みず季 つたや	0264(22)2145	●	●		
	おん宿 葛屋	0264(22)2010	●	●		
	三河家旅館	0264(22)2030	●	●		
木曾駒	木曾駒高原ホテル	0264(23)7221	●		●	
	駒の王	0264(23)7201			●	
	駒の湯	0264(23)2288	●		●	
	ペンションアルパイン	0264(23)8001			●	●
開田高原	森のホテル	0264(23)7331			●	
	つたや季の宿 風里(かざり)	0264(42)1188	●		●	
	ペンションJハウス	0264(44)2219			●	●
三番上松	木曾温泉	0264(46)2700	●			
	ねざめホテル	0264(52)2245	●			

その他の宿泊情報は、木曾町観光協会へお問い合わせください  
Tel. 0264 (22) 4000 Fax.0264 (24) 3500



